

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	吹田市役所		代表者名	後藤 圭二	
担当者部署	都市魅力部		連絡先電話番号	06-6384-2145	
担当者役職	主任	担当者氏名	梶屋 有里奈	連絡先E-mail	
住所	564-8550 大阪府吹田市泉町1-3-40				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今後のICTを活用した地域課題解決を図るために実施する、全庁的なシティプロモーションの機運醸成のための助言をいただく研修に向け、具体的な案を複数いただき、それまでに本市で整理すべきことを掴むことができた。
アドバイザーへの要望事項	次回の下水道部と連携した研修の実施。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年11月16日	支援・助言(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	10時00分	
			活動時間（分）	60	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	ICT等を活用したシティプロモーションを実施している室課が限られており、全庁的な取組となっていないこと。令和4年度の全庁に向け研修により、シティプロモーションの本質について見識を深めることができたがその見識をどうやって具体的に行動や取組に繋げていくかに苦慮していたり、実際にシティプロモーションに資する取組を実施した際の疑問や課題が存在する。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	12月22日に実施する研修の内容を具体的に決定するもの。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	12月22日に実施する研修に向けての内容の助言。個別相談式で、座談会的な形でシティプロモーションの課題を相談するものか、シティプロモーションを自分事化できるようなワークを実施するものかどちらかでの実施する内容の助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	具体的な研修内容の検討に向け、助言をいただくことができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修をどちらの方法で実施するか、今後検討し決定していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは次回実施する。	
5-3. 今後の計画 事業の最終的な目指す姿	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。